

製品名: TPX2 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab19171

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	86kDa

抗原情報

遺伝子名	TPX2
別名	TPX2; C20orf1; C20orf2; DIL2; HCA519; Targeting protein for Xklp2; Differentially expressed in cancerous and non-cancerous lung cells 2; DIL-2; Hepatocellular carcinoma-associated antigen 519; Protein fls353; Restricted expression prolifera
遺伝子 ID	22974.0
SwissProt ID	Q9ULW0
免疫原	抗血清はヒト DIL-2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 301-350

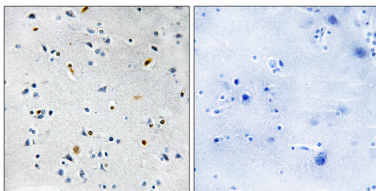
背景

発生段階: G1/S 移行期から細胞質分裂終了まで、増殖細胞でのみ発現します。、PTM: DNA 損傷時にリン酸化されます (おそらく ATM または ATR による)。、細胞内局在: 有糸分裂中は紡錘体極および有糸分裂紡錘体に厳密に関連していますが、S 期および G2 期には核全体に拡散して分布しています。、組織特異性: 肺癌細胞株で発現しますが、正常な肺組織では発現しません。、発生段階: G1/S 移行期から細胞質分裂終了まで、増殖細胞でのみ発現します。、PTM: DNA 損傷時にリン酸化されます (おそらく ATM または ATR による)。、細胞内局在: 有糸分裂中は紡錘体極および有糸分裂紡錘体に厳密に関連していますが、S 期および G2 期には核全体に拡散して分布しています。、組織特異性: 肺癌細胞株で発現しますが、正常な肺組織では発現しません。、

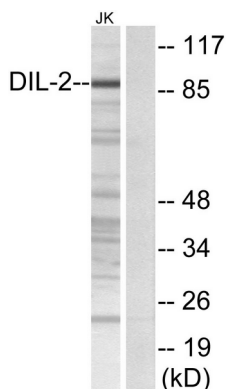
研究分野

細胞生物学

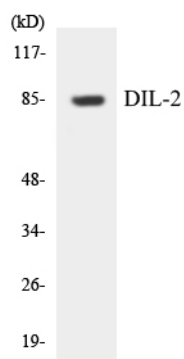
画像データ



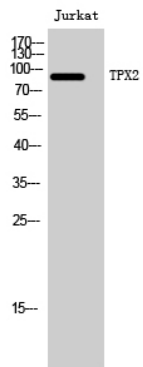
DIL-2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



DIL-2 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



DIL-2 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



TPX2 ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。